

実践記録

学校/学年	小学校 / 5 年	
教科等：単元名	総合：「インターネットについて」	
キーワード	個人情報	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 3 : 情報社会の危険から身を守るとともに不適切な情報に対応できる。 e 2 : 情報を正しく安全に利用することに努める。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 3 - 1 : 予測される危険の内容がわかり、避ける。 e 2 - 2 : 個人の情報は他人にもらさない。
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	個人情報を書き込む HP では何が危険か知り、危険だと思ったら立ち止まることができる。また困ったことを大人と相談できる。	
使用教材	教材名	ハムハムのオンライン教室
	製作者	Benesse 教育情報サイト
	入手先(URL 等)	http://benesse.jp/education/students/onlineroom/homepage/page020.html

○ 展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1 アンケートの結果を提示する。 2 インターネットを検索中、ハムハムの森を守る会のHPを見つけたことを伝え、提示する。	・ 児童が、インターネット利用の実態を把握する。
展開	3 個人情報を書き込み、森を守る会の活動を応援するボタンをクリックするべきかどうか班毎に考えさせる。 4 班ごとに発表する。	・ HP を印刷した紙を配布し、手元でしっかりと内容を読み取らせる。 ・ なぜクリックするのか、しないのか理由を説明できるように問い返す。
おわり	5 実際にクリックをし、結果を提示する。	個人情報を送信することのこわさを考えられたか。 ・ 個人情報が相手先に送られてしまう仕組み、こわさを理解させる。

○ 授業の成果

・ インターネット内の危険なサイトの存在、個人情報流出の仕組み、こわさを児童が理解できていた。

○ 指導のポイント・留意点

・ 実際の画面で学習用のページということを理解させ、個人情報流出のこわさを体験する。